

中学校数学科

2年生

5 図形の性質と証明

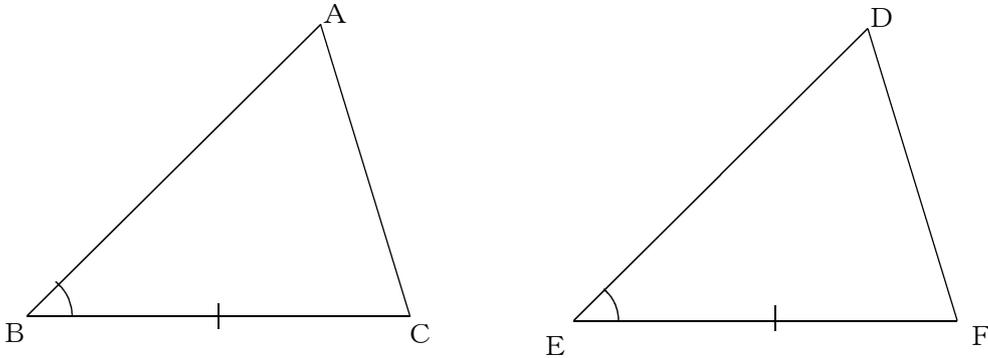
[解答]

中学校

年 組 号 氏名

■ 練習問題①

1



$BC=EF$, $\angle ABC=\angle DEF$ であることは分かっているので、あと1つ分かれば合同がいえる。
 $AB=DE$ ならば、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから合同がいえる。
 $\angle C=\angle F$ ならば、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから合同がいえる。

答え $AB=DE$

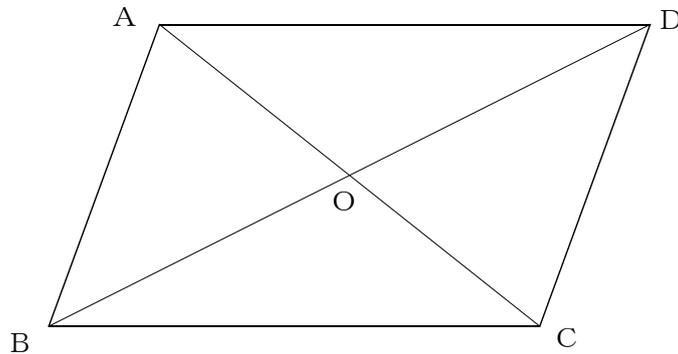
または

 $\angle C=\angle F$ ($\angle ACB=\angle DFE$)

■練習問題②

2

(1)

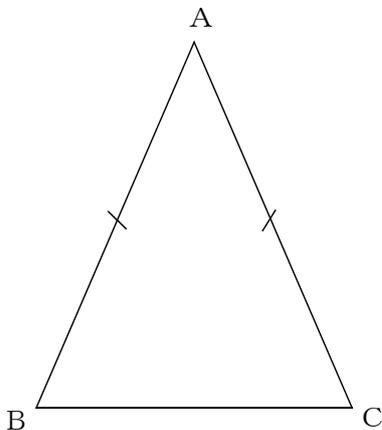


平行四辺形になるための条件は次の5つ。(矢印の右側は、記号で表したもの)

- ① 2組の向かい合う辺がそれぞれ平行 (定義)。 → 「 $AB \parallel DC, AD \parallel BC$ 」
 ② 2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい。 → 「 $AB = DC, AD = BC$ 」
 ③ 2組の向かい合う角がそれぞれ等しい。 → 「 $\angle BAD = \angle DCB,$
 $\angle ABC = \angle CDA$ 」
 ④ 対角線がそれぞれの中点で交わる。 → 「 $AO = CO, BO = DO$ 」
 ⑤ 1組の向かい合う辺が等しくて平行。 → 「 $AB = DC, AB \parallel DC$ 」または、
 「 $AD = BC, AD \parallel BC$ 」

答え ・ $AB = DC, AD = BC$
 ・ $\angle BAD = \angle DCB, \angle ABC = \angle CDA$
 ・ $AO = CO, BO = DO$
 ・ $AB = DC, AB \parallel DC$
 または,
 $AD = BC, AD \parallel BC$

(2)



二等辺三角形だから、底角は等しい。
 よって、

$$\angle B = \angle C$$

これに、 $\angle A$ が等しいことがいえれば、 $\triangle ABC$ は、
 正三角形になる。

答え $\angle A = \angle B$
 または,
 $\angle A = \angle C$

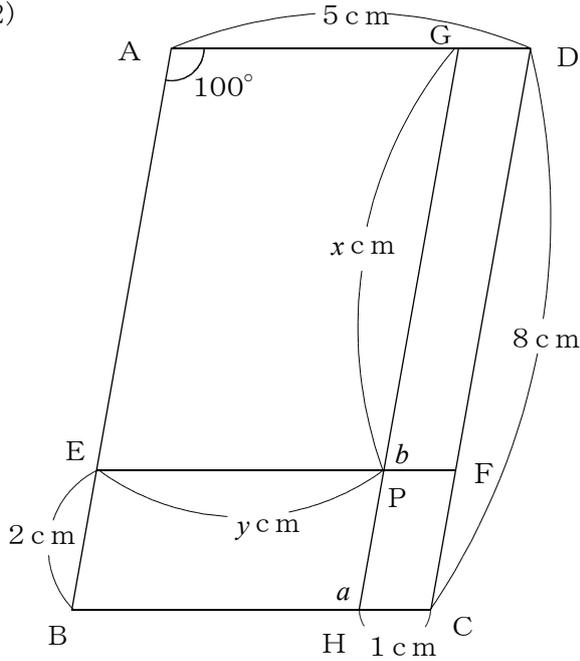
■練習問題③

3

(1) $\angle x = (180^\circ - 46^\circ) \div 2$
 $= 67^\circ$

答え $\angle x = 67^\circ$

(2)



□ABCDで、与えられた条件から、中にできる四角形はすべて平行四辺形である。

よって、平行四辺形の性質から、

$$x = 8 - 2 = 6$$

$$y = 5 - 1 = 4$$

となる。また、

$$\angle a = \angle A = 100^\circ$$

$$\angle b = 180^\circ - \angle GPE$$

$$= 180^\circ - \angle A$$

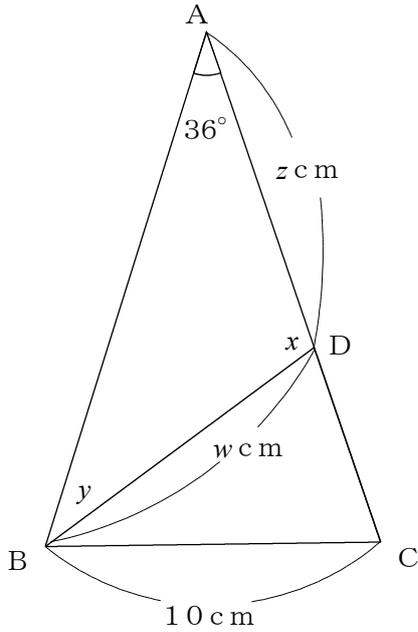
$$= 180^\circ - 100^\circ$$

$$= 80^\circ$$

答え $x = 6\text{cm}$, $y = 4\text{cm}$

$\angle a = 100^\circ$, $\angle b = 80^\circ$

(3)



$\triangle ABC$ は二等辺三角形だから、

$$\begin{aligned}\angle B &= \angle C \\ &= (180^\circ - 36^\circ) \div 2 \\ &= 72^\circ\end{aligned}$$

また、 $\angle DBC$ は $\angle B$ の半分だから、

$$\begin{aligned}\angle y &= \angle DBC \\ &= 72^\circ \div 2 \\ &= 36^\circ \\ \angle y &= 36^\circ\end{aligned}$$

一方、

$$\begin{aligned}\angle CDB &= 180^\circ - \angle C - \angle DBC \\ &= 180^\circ - 72^\circ - 36^\circ \\ &= 72^\circ\end{aligned}$$

よって、 $\triangle BDC$ も底角が 72° の二等辺三角形になる。

したがって、

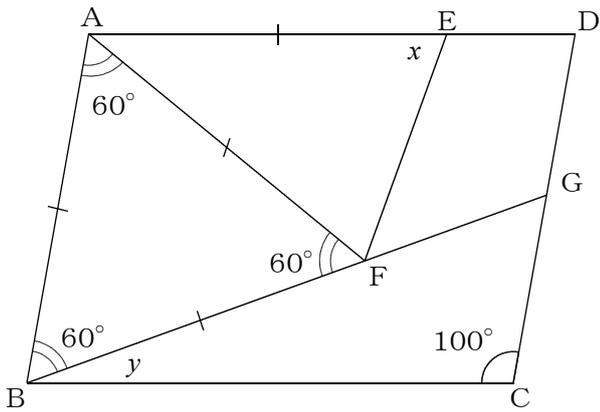
$$\begin{aligned}BC &= BD \\ &= 10\text{cm}\end{aligned}$$

また、 $\triangle ABD$ も二等辺三角形になる。このことから、角度や辺の長さが求められる。

$$\begin{aligned}AD &= BD \\ \angle x &= 180^\circ - 36^\circ \times 2 \\ &= 108^\circ\end{aligned}$$

答え $\angle x = 108^\circ$, $\angle y = 36^\circ$
 $w = z = 10\text{cm}$

(4)



四角形ABCDは平行四辺形より、2組の向かいあう角はそれぞれ等しいから、

$$\angle BAE = \angle C = 100^\circ$$

$\triangle ABF$ は正三角形だから、

$$\begin{aligned} \angle EAF &= \angle BAE - 60^\circ \\ &= 100^\circ - 60^\circ \\ &= 40^\circ \end{aligned}$$

よって、

$$\begin{aligned} \angle x &= (180^\circ - 40^\circ) \div 2 \\ &= 70^\circ \end{aligned}$$

また、

$$\angle BAD = \angle C = 100^\circ, \angle ABC = \angle D,$$

四角形の内角の和は 360° だから、

$$\angle BAE + \angle ABC + \angle C + \angle D = 360^\circ$$

$$2 \times \angle ABC + 100^\circ + 100^\circ = 360^\circ$$

よって、

$$\angle ABC = 80^\circ$$

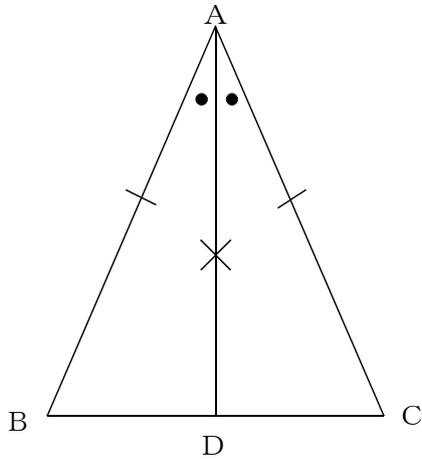
これから、

$$\begin{aligned} \angle y &= 80^\circ - \angle ABF \\ &= 80^\circ - 60^\circ \\ &= 20^\circ \end{aligned}$$

答え $\angle x = 70^\circ, \angle y = 20^\circ$

■ 練習問題④

4



$AB=AC$ の二等辺三角形の、頂角の二等分線をひき、辺 BC との交点を D とする。

$\triangle ABD$ と $\triangle ACD$ で、

$\triangle ABC$ は二等辺三角形だから、

$$AB = AC \quad \cdots\cdots\text{①}$$

AD は $\angle A$ の二等分線だから、

$$\angle BAD = \angle CAD \quad \cdots\cdots\text{②}$$

共通な辺だから、

$$AD = AD \quad \cdots\cdots\text{③}$$

①, ②, ③より、

(2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい)ので、

$$\triangle ABD \equiv \triangle ACD$$

よって、[合同な図形では対応する角の大きさは等しい]から、

$$\angle B = \angle C$$

(1) 上の証明を参考にするとよい。

答え 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

(2) 上の証明を参考にするとよい。

答え 合同な図形では対応する角の大きさは等しい

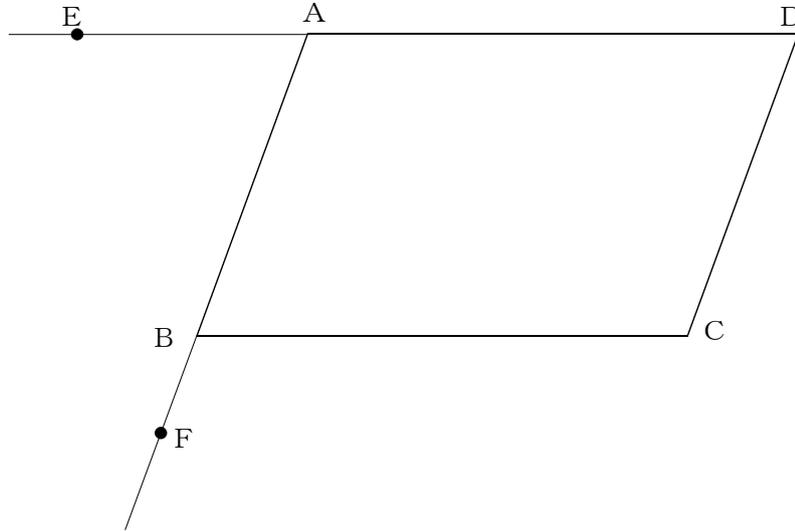
(3) 頂角の二等分線は、底辺を垂直に2等分する。

答え ア

■ 練習問題⑤

5

証明は次の通り。



上の図の□ABCDで、辺DAの延長上に点Eをとり、辺ABの延長上に点Fをとる。
□ABCDだから、AD//BC。よって、

$$\angle DAB = (\angle CBF) \quad \dots\dots ①$$

また、AB//DCより、

$$(\angle CBF) = \angle C \quad \dots\dots ②$$

①、②より、

$$\angle DAB = \angle C \quad \dots\dots ③$$

同様に、AD//BCより、

$$\angle ABC = (\angle EAB) \quad \dots\dots ④$$

また、AB//DCより、

$$(\angle EAB) = \angle D \quad \dots\dots ⑤$$

④、⑤より、

$$\angle ABC = \angle D \quad \dots\dots ⑥$$

よって③、⑥より、平行四辺形の向かい合う角は等しい。

(1) 上の証明を参考に考えるとよい。

答え ア…… $\angle CBF$ (または, $\angle FBC$)
イ…… $\angle EAB$ (または, $\angle BAE$)

(2) 答えは次のとおり。

答え ①……イ, ②……ウ
④……ウ, ⑤……イ

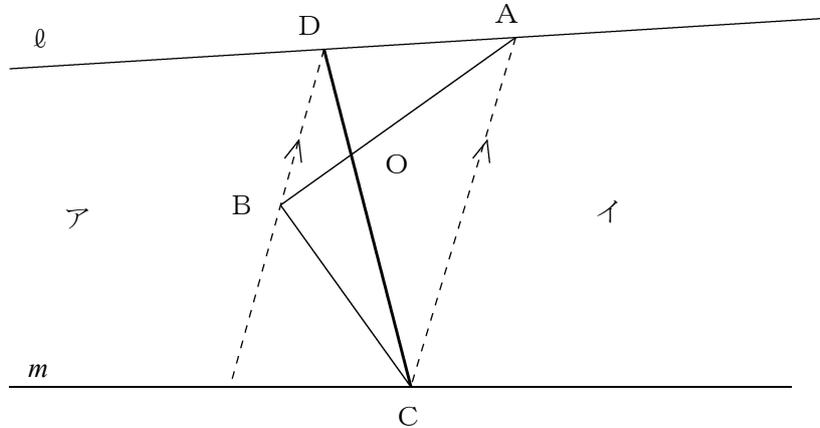
(3) 平行四辺形の性質は, イだけである。

答え イ

■ 練習問題⑥

6 解答は下のとおり。

(1)



①線分ACをひく。

②線分ACと平行で、点Bを通る直線をひく。

③直線 l と②の直線の交点をDとすると、 $\triangle ABC$ と $\triangle ADC$ は底辺が共通で、高さが等しいので、 $\triangle ABC$ と $\triangle ADC$ の面積は等しい。

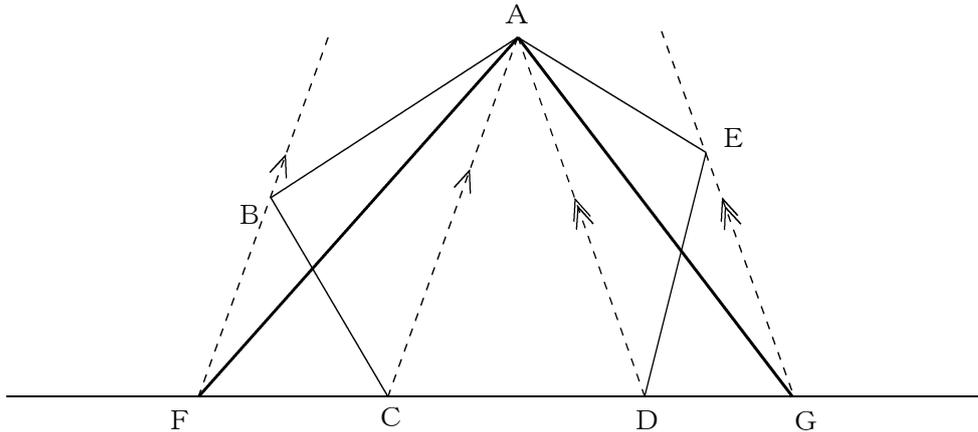
④境界線をABからCDとすると、 $\triangle BOC$ がアの土地になるが、その代わり $\triangle DOA$ が新たにイの土地になる。よって、

$$\begin{aligned} \triangle ABC &= \triangle ADC \text{より、両辺から}\triangle AOC \text{の面積をひくと、} \\ \triangle ABC - \triangle AOC &= \triangle ADC - \triangle AOC \\ \triangle BOC &= \triangle DOA \end{aligned}$$

となり、ア、イの面積は変わらない。

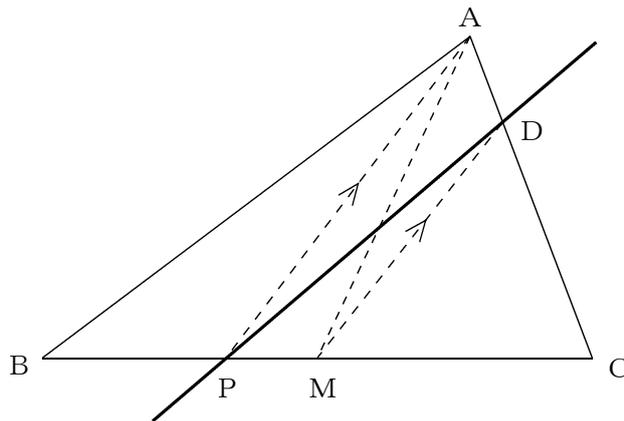
⑤よって、線分CDが新しい境界になる。

(2)



- ①線分ACをひく。
- ②線分ACに平行で、点Bを通る直線をひき、直線CDとの交点を点Fとする。
 $\triangle ABC$ と $\triangle AFC$ は、底辺（AC）が共通で、高さが等しいので、面積が等しい。
 $\triangle ABC = \triangle AFC$
- ③線分ADをひく。
- ④線分ADに平行で、点Eを通る直線をひき、直線CDとの交点を点Gとする。
 $\triangle AED$ と $\triangle AGD$ は、底辺（AD）が共通で、高さが等しいので、面積が等しい。
 $\triangle AED = \triangle AGD$
- ⑤五角形ABCDE = $\triangle ABC + \triangle ACD + \triangle AED$
 $= \triangle AFC + \triangle ACD + \triangle AGD$
 $= \triangle AFG$

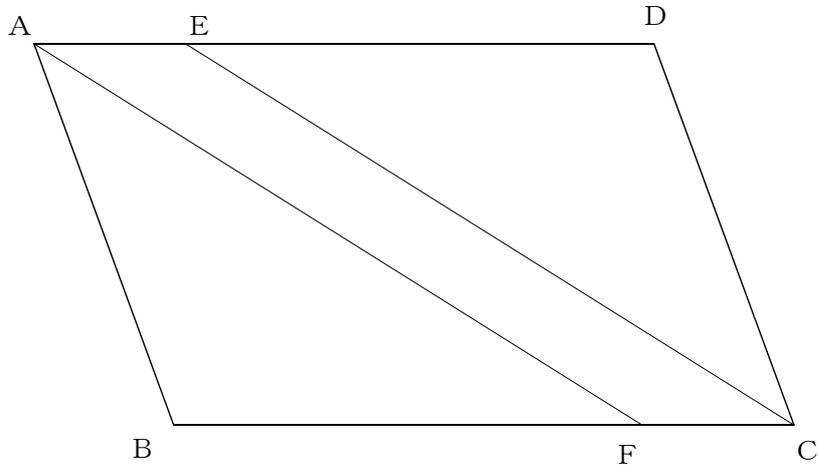
(3)



- ①線分AM, APをひく。
- ②線分APと平行で点Mを通る直線をかき、ACとの交点をDとする。
 AM は $\triangle ABC$ の面積の二等分線である。また、 $\triangle APM$ と $\triangle APD$ は、底辺（AP）が共通で、高さも等しいので面積は等しい。よって、 $\triangle APM = \triangle APD$ 。
- ③よって、点Pと点Dを結ぶ直線が $\triangle ABC$ を点Pを分けて2等分する直線である。

■練習問題⑦

7 解答は下の通り。



証明

四角形AFCEで、
 四角形ABCDが平行四辺形であることより、向かい合う辺はそれぞれ平行なので、

$$(\quad \mathbf{AE // CF} \quad) \cdots \cdots \textcircled{1}$$

仮定から、

$$(\quad \mathbf{AE = CF} \quad) \cdots \cdots \textcircled{2}$$

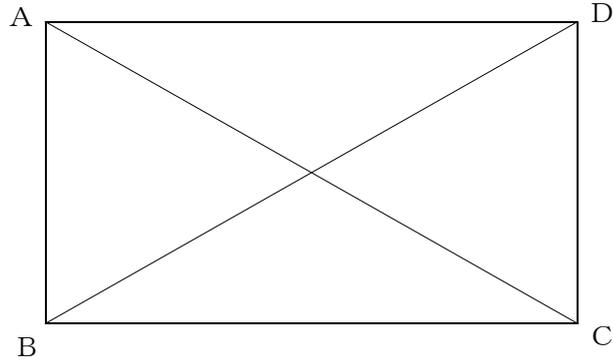
①, ②から、

(1組の向かい合う辺が等しくて平行) から
 四角形AFCEは平行四辺形になる。

答え ア…… $AE // CF$ イ…… $AE = CF$
 ウ……1組の向かい合う辺が等しくて平行

■ 練習問題⑧

8



【証明】

$\triangle ABC$ と $\triangle DCB$ で、四角形 $ABCD$ が長方形であれば、

$$AB = (\quad DC \quad)$$

$$\angle ABC = (\quad \angle DCB \quad) = 90^\circ$$

共通な辺だから $BC = (\quad CB \quad)$

よって、(2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい) ので、

$$\triangle ABC \equiv \triangle DCB$$

だから、

$$AC = BD$$

となる。

(1) 上の証明を参考にするとよい。

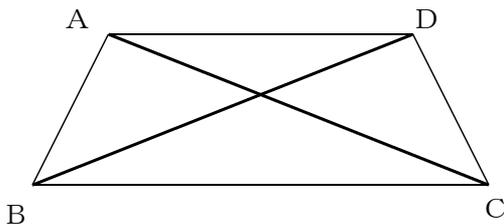
答え ①…… DC ②…… CB ③…… $\angle DCB$

④……2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

(2) 仮定と結論を入れかえるとよい。

答え $AC = BD$ ならば四角形 $ABCD$ は長方形である

(3) 四角形 $ABCD$ で $AC = BD$ であったとしても、次のような台形が考えられる。



答え 正しくない。